

学校教育目標	豊かな心 大きな夢 つなげ広げる 美東の子					
	○豊かな心 (徳) 礼儀を重んじ、友達を思いやり、感謝の気持ちをもつ子を育てます。 (体) 健康の大切さを知り、自分や人の生命と体を大切に育てます。 ○大きな夢 (知) 自ら興味や関心を広げ、あきらめずに挑戦する子を育てます。 ○つなげ広げる (公) 自らができることを考え実践し、他者と共に生きようとする子を育てます。 (開) 様々な人とのコミュニケーションを大切に、豊かに表現できる子を育てます。					
学校概要	創立 45 周年	学校長 藤本 光子	副校長 二瓶 亜希子	2 学期制	一般学級: 16	個別支援学級: 3
	児童生徒数: 517 人	主な関係校:				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	〇〇中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
・「ひと・もの・こと」と積極的に関わり、主体的、対話的で深い学びを通して、物事を多面的に考えたり、他者や自己を理解しようとしたりする態度を育てるとともに、思いや考えを伝え合う力の育成を目指す。	美しが丘中学校 美しが丘小学校 美しが丘東小学校	夢を抱き ともによりよく生きようとする子ども ～自分で考え行動し、問題の解決を通してよりよい未来を切り拓こうとする子ども～ [小・中学校での「児童・生徒指導」と授業づくりの共通化] ・小中一貫推進担当者会議の定期開催 ・夏季合同研修会の開催と内容の充実 ・各校間授業見学 ・児童生徒指導、学習指導の共通理解と実践 ・児童生徒間の活発な交流の推進 (横浜子ども会議、ブロック保健委員会、合唱、部活動、清掃活動、授業交流等) ・地域への情報公開の促進 ・目指す子ども像を実現するための教育課程の編成

中期取組目標	○子ども一人ひとりを大切に、まちの教育力を活かした教育を推進し、人のかかわりを大切にした魅力ある学校にします。 ・学習の楽しさを実感できる授業づくりを推進し、子どもの表現や学び合いを大切にしながら「生きる力」を向上させます。 ・児童理解、特別支援の体制を充実させ、子ども一人ひとりが自己有用感をもち「行きたい学校」「安心できる学校」と思える学校にします。 ・まちの教育力(保護者、地域、ボランティア等)を活用した学習を取り入れ、まちの「ひと・もの・こと」とのつながりを意識した体験を通して、まちを愛する心を育てます。 ・学校、家庭、地域、諸機関の連携を密にして、健康で安全な学校生活が送れるようにします。 ・「チーム美東」として全教職員が、主体的に学校運営に参画して、活力ある学校づくりをします。
--------	---

重点取組分野		具体的取組
知	確かな学力	①全学級で「ユニバーサルデザイン」を意識した授業展開を図る。めあて、見通しをしっかりとせ、主体的・実践的な課題解決能力を身につけることができるようにする。②重点研究を道徳科として、児童が「伝え合う力」をたかめることを目指す。③授業力を高めるために、研究授業を行う。
担当	重点研推進委員会	
徳	豊かな心	①全校遠足、レクリエーションなど、年間を通して縦割りの「なかよし活動」を行い、異学年のつながりを築くようにする。②保護者、地域、ボランティアなど「まちの人」とのかかわりを生かした学習を充実させ、感謝の気持ちやまちを愛する気持ちを育成する。③自ら進んであいさつする姿を認め、場に応じたあいさつや態度につなげていく。
担当	人権・福祉教育委員会	
体	健やかな体	①児童の実態に合った健康テーマを設定し、各クラスで取り組む。(けんこう会議)②1校1実践運動に、異学年交流とリンクした「長縄」と個人の体力向上を目指した「短縄」を取り上げる。また、コロナ禍における児童の体力向上を目指し、昼休みや体育朝会の時間を用いて児童の体力の向上に励む。③休み時間の外遊びを推進する。(木レク、中昼休み等)④今年度も引き続き、コロナの感染拡大防止に努める。
担当	保健・健康教育 体育部	
公開	自分づくり教育 (キャリア教育)	①地域で体験的に学ぶ機会を積極的に設け、他者との関わりの中で自分の思いを表現しながら一人ひとりが自己有用感を高めるようにする。②「自分づくりパスポート」を活用し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりして、子ども自身の変容や成長を自己評価できるようにする。
担当	小中一貫教育・特活部	
いじめへの対応		①いじめ・生活アンケートを定期的実施し、全児童と担任の面談を行うことで、いじめの未然防止や早期発見につなげていく。②いじめ防止対策委員会と、職員会議での情報交換を毎月行い、児童や学年の様子を全職員間で共有できるようにする。③児童の達成感や自尊感情を高めるため、年2回のY-Pの活用や、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりに努める。
担当	いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方)		①メンターチームの計画的な活動を推進し、ミドルリーダーが助言者になって授業力・教師力を高めていく。②全教職員の力を学校運営に生かすため役割を明確にし、目標と具体的取組を設定して公務にあたる。③教務会、主任会を行い、ミドルリーダーも全体を通して学校運営に参画できるようにする。④働き方改革を一層推進し、時代や保護者、地域、職員のニーズに即した効率的な学校運営を目指す。
担当	教務会・主任会	
児童指導		①「美東スタンダード」を全職員で共有し、「生活のきまり」を保護者・児童が意識することで、6年間を見通した指導を行う。②担任だけでなく、全職員で子ども達の日常の様子を見守り、情報共有を行うことで問題行動の未然防止、早期発見に努める。③「だれもが、安心して、豊かに生活できる学校」を目指し、学校には相談できる大人が複数いることを保護者・子ども達に知らせることで、一人で悩まずに問題を解決できるようにする。
担当	児童指導委員会	
特別支援教育		①児童理解や支援のスキルアップのために、専門機関との連携を行う。(療育あおばによるコンサルテーション、研修の実施・SC・SSW)②児童の様子や学級の様子を客観的にとらえ、学年で検討して効果的な指導につなげるために、Y-Pプログラムを活用する。③個に応じた学習支援を、TTや取り出し学習の場を活用して行う。
担当	特別支援校内委員会	
安全管理		①発災による避難訓練では授業時間以外のシチュエーションを想定した訓練の実施を目指す。また、不審者対応訓練や、地域・小中ブロックと連携した引き取り訓練を可能な範囲で行う。②学校敷地内の安全点検を月1回実施し、安全確認を行う。③警察等関係機関と連携し、交通安全教室、防犯教室の実施を行う。
担当	安全・防災教育委員会	
担当		